伊方町議会第７１回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
田村　義孝 議員	１　介護人材確保について	町　長

質問の要旨

伊方町のみならず日本全体で、近年、労働力の確保が難しい状況となっています。とくに介護人材の確保は厳しい状況であると認識しております。

コロナ禍において、緊張感をもって、また使命感を持って、利用者のみなさんに感染させないと接しておられる介護、医療現場のみなさんのがんばりに感謝いたしております。ありがとうございます。

さて、先般も伊方町総合福祉センター整備に関する勉強会の中で、総合福祉センターの整備ではなく、早急に認知症ＧＨを整備すべきとの勉強会での結論を拝見しました。

今後、このように高齢化が進み、ますます労働力が減少する中で既存の介護事業所もふくめ、新規の事業所の運営もしていく中で、労働力の確保は喫緊の課題で、なおかつ長く定着して働いてくれる方の確保が大切と考えます。

そこで２点についてお尋ねします。

① 昨年、令和３年の９月の議員全員協議会にて「介護人材確保補助事業について」の説明がありました。４つの補助事業について導入が低調とお聞きしましたが、利用実績と低調な理由、それをふまえて補助事業を今後どのように改善して介護人材の確保をしていくのか、お尋ねします。

② 来年度から使用済核燃料税も増額となるわけですが、伊方町の独自財源で介護人材確保と定着のため、一時金ではなく継続して介護人材の給与にプラスして、伊方町商品券で支給することはできないでしょうか。
現金ではなく、商品券で支給することで、地域内消費として地元企業に還元され、経済効果もあると考えます。